ロスプリベンションへの道4 協働防犯(28)

近代科学誕生へ 時を超えた文明間の知的交流

JEAS25周年の第2回大プレゼン大会とアジア初のLP会議主催

6月5日(金)に開催された工業会JEASのJEAS25周年の第2回大プレゼン大会の最後に、審査委員長をお務めいただいた創価大学経営学部教授の安田賢憲先生から総評をいただいた。「…今日はいずれの会社も、ユーザーの本音をしっかりつかんだ取り組みをしていらっしゃると感じました。最終的にはユーザーに喜んでもらうため、不明ロス改善、それが利益にもつながるという大きな目標を掲げ、それをオープンイノベーションでやっているのが、まさにJEASという工業会なのだと再確認いたしました。稲本会長も本当にオープンハートの方で、もういつでも情報共有してくださいますし、学生達を抱えるような形で歓待してくださいます。その姿勢が、顔認証やAIなどの新たなビジネスにも表れているなあと感じました。…」

総評を聞いたあと、私は近代科学誕生へといざなった『アルマゲスト』のことを思い出した。それは時を超えた文明間の知的交流のサンドボックスでもあった。全力を尽くした登壇者6名を労いながら、JEASメンバーの熱き活動が次の時代への安全・安心・快適へのサンドボックスになってほしいと切に思った。

☆近代科学誕生とそれを担った数学者たちの時を超えた連携

『アルマゲスト』は、ローマ帝国時代にエジプト・アレクサンドリアの天文学者クラウディオス・プトレマイオスによって書かれた天文学の専門書である。本書で展開された天動説と円運動に基づく天体の運行の理論は、1000年以上にわたって数理天文学の基礎として、中東およびヨーロッパで受け入れられた。天体の運行の幾何学的なモデルを中心に、観測や天体の位置の計算、必要とされる数学や簡単な宇宙論まで、天文学を運用するのに必要な知識を広く網羅し、体系的に解説している記念碑的な天文学書である。

その天動説は決定的に否定され、周転円と離心円はケプラーの楕円軌道に取って代わられたが、この作品は依然として卓越した科学的・歴史的価値を持っている。その方法論はいまだ現代科学の中核に位置している。数学的ツール、1022個の星のカタログ、そして歳差運動なども現在まで使われる概念である。

逆説的だが、『アルマゲスト』が最も教訓的なのは、その「概念的誤り」にある。すなわち、モデルは誤った前提に基づいていても、数学的に首尾一貫していれば、予測は可能でありうるということだ。

近代科学はギリシャ、インド、イスラム世界、中世ヨーロッパの『アルマゲスト』などの知識体系の融合によって成り立っている。近代科学は天才の発明ではなく、文明交流と方法論の進化が生んだ成果である。

英語の「アルマゲスト」という言葉は、アラビア語の「al−Majisti」に由来し、さらにギリシャ語の「Megisté」(「非常に偉大な」、「最も偉大な」)から来ている。プトレマイオスの著作が、当時の最も偉大な天文学の論文として位置づけられていたからだ。プトレマイオス本人は「アルマゲスト」のことを単に「数学集成」と呼んでいた。そういう謙虚さこそが最も偉大なことを成し遂げるのだと教えている。

近代科学誕生までの数学的・思想的発展の流れ(Cop.ilot調べ)
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20260704-1.pdf

近代科学の誕生まで(Cop.ilot調べ)
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20260704-2.pdf

小売業の内部不正対策セミナー

セルフレジ不正の増加に呼応するかのように、内部不正がまん延しはじめている。それを防止するために、公認不正検査士の米澤先生と前田様(JEAS顧問/会長補佐)と「小売業会計不正検査報告書と監査室長事件簿から対策を考える」セミナーをオンライン開催し、多数の皆様にご参加いただいた。JEASのニュースページから動画を観ることができる。

日時:5月8日(金)
主催:DX推進プロジェクト 田中崇リーダー(進行)
対象:JEAS会員、関係団体、小売業の監査室、ロス対策部門、IT部門など
登壇:講師3名は2008年から続く東京不正検査研究会第1期からのメンバースタッフ:新聞連載編集委員 平尾潤氏、ワンビの松本氏ほか
出典 https://www.jeas.gr.jp/pdf/20260510-3.pdf

令和8年度工業会JEAS通常総会・記念イベントの様子

6月5日(金)に令和8年度工業会 日本万引防止システム工業会(JEAS)【設立25周年記念】通常総会&第2回大プレゼン大会・意見交換会が四ツ谷の主婦会館で開催され、多数の小売業ユーザー様を含め、オンラインを含め180名を超える方々にご参加いただいた。

通常総会の会長挨拶、新役員挨拶、感謝状贈呈

1. 新役員紹介
○副会長及びカメラ画像安全利用推進委員会 グローリー(株)国内カンパニー 営業本部 リテール営業統括部 警送営業部 山本 健二氏
○理事・カメラ画像安全利用推進委員会 株式会社三宅 取締役社長 三宅賢二郎氏
○理事・総務委員会 AWL株式会社 上席執行役員兼CHRO土田美那氏
○最高顧問 丸の内総合法律事務所 弁護士 木村一輝氏

2. 総会の第一部では日頃の感謝を込め、(株)トライアルホールディングス、政策委員会(株)ベイシア、LINEヤフー(株)、(株)メルカリに感謝状が贈呈された。

通常総会・第2回大プレゼン大会 JEAS AWARD 2026の報告

文責 副会長・総務委員長 近江 元

6月5日に行われたJEASの通常総会の第二部は大プレゼン大会でした。昨年、初めて開催された大プレゼン大会が大変好評だったこともあり、今年の第二回はさらにバージョンアップして出場者も7名から11名と増えました。各社自信のある製品やサービスを熱っぽく語り、参加者も熱心に聞かれていました。

会場からの拍手も参考にして審査員が採点した結果、高千穂交易(株)の日向さんが金賞、銀賞がダイワ通信(株)の山田さん、ユーモア賞は、(株)杏林社の八木さんが獲得されました。

日向さんは、新たな試みとしてプレゼン中に会場参加者だけではなく、ウェブで参加されている方々を対象にライブアンケートを行い、その結果を共有することで参加者の関心を高めることに成功しました。プレゼンテーションの巧拙はもちろん重要ですが、プレゼンテーションの内容に関心をもって聴いていただける方法としてとてもユニークな試みでした。このことも優勝した要因のひとつかもしれません。

ユーモア賞の八木さんは、「最初からユーモア賞を狙っていた」と話していましたが、関西弁を駆使した見事なプレゼンテーションに会場の爆笑を誘っていました。

今回は、表情(感情)分析という新たなソリューションを体験しました。このソリューションは、参加者の表情からその感情を数値化しようとする試みです。劇場での観劇者の表情分析で実際に使用されているものですが、それを今回の大プレゼン大会で実際に採用したものです。具体的には各登壇者がプレゼン中の参加者の顔を撮影したカメラ画像から表情をリアルタイムで分析し、笑顔を評価するというものです。この技術も今後さまざまなシーンで使われるようになるかもしれませんね。次回(来年)については、まだ決定はしていませんが、今回も大変好評だったため、来年も行われる可能性が高いでしょう。ぜひ会員企業の皆様にチャレンジしていただければと思います。

最後に、僭越ながら参加者と事務局一同から感謝のメッセージです。

=オンライン参加の皆様を含め、急なアンケートなどにご協力いただき、まことに有難うございました。今後もわたしたちは「協働防犯への研鑽」を続けて参る所存です。不断の努力が必ずや花となり実となることを信じて。引き続きのご指導・ご鞭撻をお願いします=

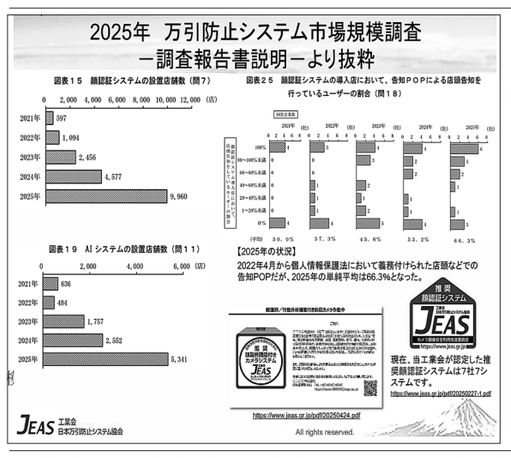
【第2部】第2回大プレゼン大会受賞企業

高千穂交易(株)日向様 ダイワ通信(株)山田様 (株)杏林社 八木様

なお、第3部は衆議院議員の葉梨様(元法務大臣)からご祝辞、経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課 課長補佐の籠様や日本小売業協会 専務理事の湊元様よりご祝辞や乾杯をたまわった。10月のアジア太平洋小売業者大会とアジア初のロスプリベンション会議の参加チケット(8万円)の抽選会では(株)JSSの林様が当選された。

2025年万引防止システム市場規模調査報告書の概要報告

摺田政策・研究委員長の代理で、DX推進プロジェクトリーダーの田中崇氏に発表いただいた。ようやくAI関連の製品の市場が開花した。



総会・大プレゼン大会・市場規模調査の簡易報告の資料の格納先
https://www.jeas.gr.jp/20260605.zip

各地の防犯団体への協力と交流(例)

☆2月20日(金)開催の茨城県防犯設備協会研修会への講師紹介
演題:話題のランサムウェア「Qilin」撃退実績!ランサムウェア対策プラットフォーム「Halcyon」で築くEDRの限界を超える防御戦略
講師:高千穂交易株式会社 蓮沼佑亮氏

☆2月24日(火)開催の関西防犯設備(士)協会連合会主催のセミナーへの講師紹介
演題:小売店向け万引き防止システム ショーケースガード SC−Guard、エスガード S−Guard
講師:株式会社杏林社 代表取締役 清永浩史氏
演題:工業会日本万引防止システム協会推薦製品のご紹介
講師:高千穂交易株式会社リテールソリューション事業部大阪支店RS チームマネジャー 赤松忠彦氏

☆5月25日(月)茨城県防犯設備協会 第四回定時総会 記念講演会の講師紹介
演題:防犯機器と時代に即した機器のご紹介、オーム社から見た現代の防犯について
講師 株式会社オーム電気 田中氏(営業部)、林氏(商品部)

☆6月16日(火)一般社団法人ID認証技術推進協会 定時総会・記念講演会への講師派遣
演題:工業会JEASへの取り組み状況と課題
講師:JEAS会長
講演後に頂戴したご参加の皆様のご意見より抜粋
・防犯民主主義という考え方が参考になりました。
・法整備や実態などを交え、わかりやすく興味深い内容でした。
・とても良い講演で、信頼出来る方かと思われた。お考えがはっきりとされており、共感出来るものであり、世の中も捨てたもんではないと思った。
・単語の意味をしっかり定義することの重要性を認識しました。
・人手不足の課題が顕著な流通業界で無人化の流れと並行した防犯の取組みとして、業界標準として定めていくことの重要性を改めて理解した。
・記念講演は、1時間では短すぎたと感じました。日本の現在地についてもっとお伺いしたかったです。

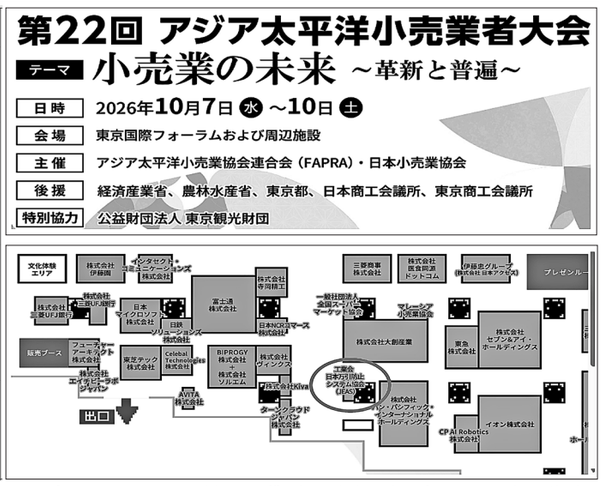
☆6月18日(木)静岡県警察本部 「万引き対策防犯責任者研修会」への講師派遣
参加企業:高千穂交易(株)、タカヤ(株)、AWL(株)、(株)日本保安
※この様子はTVや新聞で全国に報道された。

第22回アジア太平洋小売業者大会のスポンサーとして

当工業会は10月9日(金)のロスプリベンション会議を主催し、会場ブースで会員企業の製品を世界に向けて紹介する予定である。
https://aprce2026.com/

☆アジア太平洋小売業者大会へ大学生さんを招待(無料)する特別企画
趣旨:今後の流通・小売業の人材確保に寄与すべく、現役大学生に、アジア太平洋地域の小売業の現状と将来を見聞する機会を提供することを目的とした企画である。当工業会からの提案を日本小売業協会の野本会長にご賛同いただき、実現した夢の企画である。

概要
名称 第22回アジア太平洋小売業者大会(APRCE)
大会テーマ 小売業の未来 ~革新と普遍~
会期 2026年10月7日(水)~10日(土)
会場 東京国際フォーラムおよび周辺施設
主催 アジア太平洋小売業協会連合会(FAPRA)・日本小売業協会
後援 経済産業省、農林水産省、東京都、日本商工会議所、東京商工会議所
特別協力 公益財団法人 東京観光財団



セキュリティショー大阪 大防設セミナー7月2日(木)~7月3日(金)より

セキュリティショー大阪2026大防設セミナーに参加されたコンビニオーナー様から、次のメールを拝受した。このお店が万引の無いお店になるよう、心よりご祈念申し上げている。併せて、このようなご縁の場を作っていただいた日本経済新聞社と大防設の皆様に御礼を申し上げたい。

件名:【御礼】昨日は有難うございました。
送信日時:2026年7月3日(金)12:08:54
工業会 日本万引防止システム協会 稲本会長殿

お世話になります。7月2日のインデックス大阪でのセミナー後にお声かけさせて頂きました、セブンイレブン○○○店の○○と申します。昨日は有難うございました。協会の存在、活動、推奨されている顔認証メーカー、とても有益なお話お伺い出来てブース見るよりも為になりました。今朝、会場にいらした貴会員企業2社よりお電話頂き来週来店して頂けるとのお約束が出来ました。これも稲本会長がご紹介して頂きましたお陰です。まずは御礼にて。

今後とも宜しくお願い致します。

なお、このセミナーの動画は日本防犯設備協会の「防犯のプロ YouTube チャンネル」でアップされる予定とお聞きしております。昨年度のものも公開されている。

江戸時代に学ぶ町ぐるみの防犯対策と再犯防止
https://youtu.be/j1GUC6Zuiq8

個人情報保護法を公正に導く防犯民主主義の理念

各新聞報道によれば、参院デジタル社会・人工知能(AI)特別委員会は6月19日、個人情報保護法改正案について参考人質疑を行った。全国消費者団体連絡会の郷野智砂子事務局長は、法案は課徴金制度の削除、被害回復制度の消滅、本人同意原則の弱体化を招き、「個人の権利保護を大きく損なう」と批判。セルフレジを使用している事業者が顔データ取得の有無について答えないなどの相談が寄せられており、生体情報の不透明な扱いへの懸念を表明した。

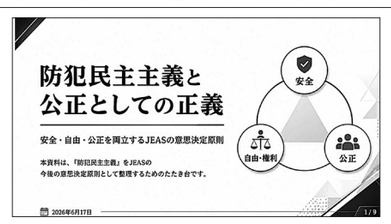
防犯民主主義の視点で、個情法改正案を俯瞰すると、EUなどの先進国から、日本が個人情報管理に不備が多い国として名指しされそうな法案かと拝察する。2025年の検討案通り、提供元事業者に対して、データのハッシュ化と、オプトアウトの用意、個情委への届け出を義務づけ、課徴金の強化と団体訴訟の導入の必要性を強く感じている。AIを安全に活用する為にもそれが必須となっている。

特殊・SNS被害総額は過去最悪の3,241億円(前年の1.6倍)に達しており、悪質な闇の名簿屋の取り締まりが急務となっているが、一部の経済界の要請で、この1年で改変されたこの法案では、それに対処できなくなる可能性がある。

上場している企業各社からは「仮にこの法案が成立しても、当社の理念やガイドラインに照らし、改正法に準拠するつもりはない。自分を含めて市民の理解が得られないから。」という意見を多数お聞きしている。

恐らくこの法律が成立して、喜ぶのは闇の名簿屋とデジタル搾取をしている海外の巨大IT企業だと思われる。JEASの活動がそれらと同じように思われないために、またその悪しき流れにくみしないように6月16日(火)にJEASの意思決定原則の日本語版と英語版を発出した。JEASの同日のニュースページには、この10年かけて培ってきた意思決定原則成立の経緯も付記した。

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20260618-2.pdf



なお、4度の改定をおこなってきたJEASの個人情報保護指針には、消費者目線を基底に織り込むため(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)にもご精査いただいている。JEASの指針は防犯・防災利用だけでなく、商業利用や生成AIや越境移転までを含んだ総合的指針である。個人情報保護法の改定後、毎回、3か月ほどかけて各ステイクホルダーの知的感情的見解を参照しながら徹底的に見直している。それが認定個人情報保護団体の使命である。

全国万引犯罪防止機構(通称:マンボウ)
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文:事務局(稲本義範)

時を超えた文明間の知的交流にはほど遠いが、海外を含む小売業企業や関係団体、関係省庁の協力をいただき、さらに新たに加わった強力な新メンバーも含め協働防犯への研鑽の旅を続けたいと思う。~防犯民主主義実現に向けて~EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として。

JEAS新会員

○正会員
ソフトバンク株式会社
株式会社マクニカ
i−PRO株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ワンビ株式会社
○賛助会員
株式会社オーム電機

※JEAS会報45号はまもなくこちらにアップされます。今回の記事の詳細はこちらを参照ください。
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20260721.pdf